

令和 7 年11月 27 日

報道機関 各位

古代出雲文化フォーラムⅫ～青銅器と出雲～ 参加受付開始しました

【令和8年3月7日(土) 会場:島根大学】

◆本件のポイント！

令和8年3月7日(土)、松江市にて、古代出雲文化フォーラムⅫを開催します。

このフォーラムは島根大学が平成 24 年度から毎年、全国各地での開催を重ねており、今回で第 12回目となります。

今年、『考古学の芥川賞』ともいわれる濱田青陵賞を受賞した法文学部岩本 崇准教授をはじめとする本学法文学部の教員が講師を務めます。

参加費は無料、どなたでもご参加いただけるイベントとなっております。

報道各社の皆さまに置かれましては、本フォーラムについて広くご周知いただけますと幸いです。

◆本件の概要

「古代出雲文化フォーラム」は本学の目指す地域社会との連携及び協力関係を構築する上で重要な役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和元年度は開催を中止し、令和 2 年度 3 年度についてはオンラインでの実施でしたが、令和 4 年度からは再び対面での開催としております。

今回は 12 回目にして初めての地元島根県での開催です。「～青銅器と出雲～」をテーマに、本学が長年取り組んでいる考古学研究に民間企業と協定を締結し進めている先鋭研究事例紹介なども交えながら第1部では古墳時代～弥生時代における出雲・朝鮮の青銅器について本学3名の講師から分かりやすく紹介します。第2部では「青銅器サプライチェーンと出雲」と題し第一部講師による討論会を予定しています。これまで 13 年にわたり開催してまいりました古代出雲文化フォーラムですが、今回の開催をもって一旦終了とし、今後は新たに考古学のみならず一層本学の文理様々力を注ぐ研究成果を発信し、地域社会への還元を目指してまいります。

◆内 容

後 援 島根県、島根県教育委員会、松江市、雲南市、日鉄テクノロジー株式会社

日 時 令和 8 年 3 月7日(土)13:00～17:00

会 場 島根大学 大学ホール(島根県松江市西川津町 1060)

定員 最大 250 名(スクール形式)

※参加希望の方は事前登録が必要です。(申込締切令和 8 年 1 月 30 日(金))

◆本件の連絡先

国立大学法人島根大学 企画部企画広報課

TEL:0852-32-6603

Mail: gad-koho@office.shimane-u.ac.jp

【添付資料: ☒あり(2枚) ☐なし】

参加費
無料定員／最大250名
(スクール形式)

Forum on Ancient Izumo Culture SEIDOKI & IZUMO

古代出雲 文化フォーラムXII

青銅器① 出雲



【主催】島根大学 【後援】島根県・島根県教育委員会・松江市・雲南市・日鉄テクノロジーズ株式会社

令和8年 3月7日 土

開演時間 13:00～17:00 開場 12:00～

島根大学 大学ホール
(島根県松江市西川津町1060)

今回のフォーラムでは、古代出雲の文化を代表する「青銅器（せいどうき）」に注目します。青銅器は弥生時代に日本に入ってきて、大きく発展し、古墳時代には日本中に広がりました。この流れは、日本列島に古代国家ができていく過程を考えるうえでとても重要で、これまでにいろいろな議論がされてきました。

今回は、青銅器がどのように広まり、歴史上どんな役割を果たしたのかを、東アジア全体の広い視点と、弥生時代から古墳時代までの長い時間の流れをふまえて、最新の考古学や分析技術を使って考えていきます。



①神原神社古墳出土景初三年銘三角縁神獸鏡 ②加茂岩倉遺跡出土銅鐸、いずれも島根県雲南市（文化庁保管）



司会
フリーアナウンサー
石原 美和



開会挨拶
島根大学長
大谷 浩

プログラム

第一部

13:10～13:15

趣旨説明

「島根大学の先鋭研究紹介」

13:15～13:45

先鋭研究
事例紹介

「島根大学との連携研究 事例報告」

渡邊 緩子 日鉄テクノロジー株式会社研究試験事業所文化財調査・研究室室長

13:45～14:25

講演 1

「弥生時代の青銅器と出雲」

清水 邦彦 島根大学法文学部講師

1981年大阪府生まれ。専門は日本考古学。同志社大学大学院博士前期課程修了。博士（文化史学）。茨木市立文化財資料館学芸員等を経て、2024年より現職。主な著作「弥生時代青銅器生産と工人集団」「日本考古学」44号（2017年）、「東アジアにおける曲状送風管の系譜」「古代学研究」230号（2021年）。



14:25～14:35

休憩（10分間）

14:35～15:15

講演 2

「朝鮮半島の青銅器文化と出雲」

平郡 達哉 島根大学法文学部教授

1976年大阪府生まれ。専門は朝鮮考古学。花園大学、滋賀県立大学卒業後、木浦大学校考古人類学科、釜山大学校考古学科に留学。博士（文学）。釜山大学校考古学科非常勤講師、専任待遇講師を経て、2025年から現職。著書「墳墓資料からみた青銅器時代社会」書景文化社2013年。



15:15～15:55

講演 3

「古墳時代の青銅器と出雲」

岩本 崇 島根大学法文学部准教授

1975年奈良県生まれ。専門は日本考古学。京都大学大学院博士後期課程修了。博士（文学）。大手前大学史学研究所研究員、日本学術振興会特別研究員PDを経て、2009年より現職。主著「三角縁神獣鏡と古墳時代の社会」六一書房（2020年）。第12回日本考古学協会賞大賞（2022年）、第37回濱田青陵賞（2025年）。



15:55～16:10

休憩（15分間）

16:10～16:50

討論会

「青銅器サプライチェーンと出雲」

座長 | 坂川 幸祐 島根大学法文学部講師

1991年岩手県生まれ。専門はユーラシア考古学。京都大学大学院博士後期課程修了。博士（文学）。京都大学総合博物館研究員を経て、2024年より現職。主な著作「螺旋形鏡の展開について-長城地帯の事例を中心に-」「中国考古学」第十六号（2017年）、「草原地帯東部における佩用鏡の様相」「中国考古学」第二十号（2022年）。



登壇者 | 清水 邦彦、平郡 達哉、岩本 崇（第1部講師）



16:50～17:00

発表

「島根大学の取組紹介」

増永 二之 島根大学理事

下記のいずれかの方法でお申し込みください。令和8年2月上旬ごろ入場整理券を郵送いたします。

応募締切

令和8年1月30日(金)

(当日消印有効。ただし受付は先着順となりますので、定員になり次第締め切ります。)

FAXでのお申込み

必要事項をご記入の上、送信してください。

FAX番号 0852-32-6630

(フリガナ)

●申込者氏名

年齢

歳

●同伴者

名

●住所 〒

●TEL

●島根大学卒業生の方

卒業年度 ()

学部 ()

ホームページでのお申込み

<https://www.shimane-u.ac.jp/>

古代出雲文化フォーラムXII



ハガキでのお申込み

申込者住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者数、卒業生の方は卒業年度と学部をご記入の上、下記宛先までご郵送ください。

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

宛先

島根大学企画部企画広報課

「古代出雲文化フォーラムXII」宛

※ご応募いただいた個人情報（氏名及び住所等）は「古代出雲文化フォーラム」の案内のみ使用致します。フォーラム当日は撮影が入る場合があります。そのため、TV・新聞・インターネット等に映り込み、掲載・放映される可能性がございますので、予めご理解の上、お申し込みください。

お問い合わせ



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

島根大学企画部企画広報課

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL.0852-32-6603

✉ forum@office.shimane-u.ac.jp